

建設業紹介映像を制作

BUILD NAGASAKI DREAM ~長崎を、ツクル、人になる。~

長崎県土木部では県内建設業の担い手確保へ向け、中学・高校・大学生などの若者向けに建設業の魅力ややりがいなどを紹介する映像を制作しました。

かつて「3K(きつい、汚い、危険)」というイメージを持たれてきた建設業ですが、昨今のICTの導入や、週休2日を含む働き方改革などにより、そうしたイメージは過去のものとなりつつあります。

映像では実際に県内の建設業で夢をもって仕事をしている4人の技術者が登場し、地元で働くことや建設業界を志したきっかけ、仕事のやりがいなどを熱く語ってくれます。

建設業とはどのような仕事なのか、私たちが暮らす地域にどう貢献しているのか、そしてそこで働く人々は日々の仕事を通して何を見ているのか。「長崎を、ツクル、人になる。」とは。

映像をとおして体感していただきたいと思っています。

ぜひご覧ください。

本誌では映像の一部をご紹介します。

QRコード又は
YouTube
「長崎 ツクル」で検索!



世界遺産など県内の歴史的に重要な建造物を守ることに建設業が貢献しています



地元工業高校から建設業界へ入り、地域の重要文化財修復を手掛ける宮崎さん



設計士になるという夢の実現を目指し、職人さんとともに現場で頑張る三原さん



建設業は、お客さんの希望を形にし、笑顔を作る仕事



建設業においてもICT等による技術革新が着実に進み、安全性や効率性が向上しています



地元高校普通科から建設業界へ入り、地域の生活基盤づくりに熱意を燃やす松永さん



地元商業高校を卒業し、地元への貢献にやりがいを感じながら女性らしく活躍する岩谷さん



休暇制度も充実してきており、仕事と家庭を両立させながら活躍できる環境に



県内の建設業に従事する4人の技術者が夢を語ってくれます。



長崎を造る4人のDREAMER